

市之川公民館だより 令和5年8月号 (No.596号)

〒793-0037 西条市市之川6678-1 市之川地区人口「6月末現在」
 Tel・Fax (0897) 56-3300 人口 10人(男4人・女6人)
 eメール ichinokawa-k@saijo-city.jp 世帯数 7世帯
 ※ 西条市市之川公民館だよりで検索するとカラー版がご覧になれます。

8月 葉月 (はづき)

梅雨も明け、本格的な夏がやってきました。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。熱中症が心配される季節です。屋外はもとより屋内においても、こまめに水分を補給するようにして下さい。

《8月の行事予定》

日	曜	行事・時刻・場所
11	金	祝 山の日
12	土	からおけ会 10:00～ 集会室
26	土	からおけ会 10:00～ 集会室
27	日	臨時休館

近畿道前会総会にて
渡部孝子さんによるハワイ
アンダンス。癒されます。



※ 視察研修のお知らせ

令和5年9月28日(木)に市之川公民館協力委員会等による高知県南国市への視察研修を予定しております。詳しくは9月号の公民館だよりにてご案内いたします。皆さん、日程の調整をお願いします。



高知県立民俗資料館

※ お願い

原爆死没者ならびに戦争で亡くなられた数多くの方々のご冥福と平和を祈念するための黙とうに、ご協力をお願いいたします。

- (1) 広島平和記念日 8月6日(日) 午前8時15分から1分間
- (2) ながさき平和の日 8月9日(水) 午前11時2分から1分間
- (3) 戦没者を追悼し平和を祈念する日 8月15日(火) 正午から1分間

※ 市之川鉱山産 輝安鉱を訪ねて(京都・東京)

6月、7月と念願であった輝安鉱を展示している施設を訪れてきました。いずれの施設も展示品の写真を掲載できないのが残念です。皆さん、機会があれば訪れてみて下さい。

6月18日(日)
益富地学会館(京都市)



6月19日(月)
京都市青少年科学センター



センター内を案内していただいた、展示・天文係長の中井さん。令和2年2月に市之川公民館へ来られました。その際、鉱物学習会を計画しているとの話もあり、輝安鉱を贈呈。なんとその輝安鉱が展示されていました。



7月3日(月) 東京大学 安田講堂



7月9日(日) 高田クリスタルミュージアム(京都市西京区)



皆さん手慣れたもの。早速、輝安鉱の標本をルーペで観察。



博士の藤永さん
佐々木さん
佐々木さんの紹介で、工学部のミネラフロントを見学させて頂きました。

この日の午前中は当館でイベントがありました。市之川のことを聞きたいと皆さんで私を待ってたそうです。
【なんと昨年の8月、あいテレビの取材時に来館していた伊藤さんに再会しました。これには驚きです。】

先立って6月18日(日)に訪問。その際、高田館長に資料室の展示物について説明を頂きました。



高田館長夫妻

伊藤さん

※ 西条高校道前会(近畿道前会総会)に出席しました

7月9日(日)大阪の『ホテルグランビア大阪』で近畿道前会総会が開催されました。総会の後、西条高校のコーラス部・商業科『輝安KOU房』・科学部が発表を行いました。紹介する写真は『輝安KOU房』の皆さんです。

7月7日(金)
西条高校内でのリハーサル



近畿道前会 総会にて



さあ出番です。前側はコーラス部。後ろ側が輝安KOU房の皆さん。



市長からのコメント



実践販売

2023年7月10日

～毎月10日は人権を考える日～

愛媛水平社創立100周年

愛媛県人権対策協議会ポスター



2022年（令和4年）3月、全国水平社が創立されて100年を迎えました。100年前の1922年（大正11年）3月3日、全国の被差別部落の人々約3千人が、岡崎公会堂（京都市）に集まり、全国水平社の創立大会を開きました。この大会は、被差別部落の人たち自身のみならず、「すべての人々」の人権と自由を保障することへの強い願いが込められた大会であったのです。「すべての人」が差別問題を「わがこと」としてとらえ、すべての人間が差別解消に取り組まなければならないという強い願いを発信した大会でした。

1923年（大正12年）、温泉郡（現東温市）出身の松浪彦四郎氏らが、4月18日松山市において愛媛県で最初の全国水平社支部発会式を挙行了しました。いわゆる全国水平社支部としての愛媛水平社が誕生して、100年目となります。



「先駆者たる君が功績は石鎚の峰の如く不滅の光芒を放つ」

（林田哲雄顕彰碑から 小松町）

これは、農民運動家であり、小作争議や部落解放運動を指導し、戦後衆議院議員となった林田哲雄氏の顕彰碑に書かれている一文です。林田哲雄氏は、1899年に小松町に生まれ、小松小学校、西条中学から大谷大学に入学しますが、中退し、故郷で社会運動を始めました。

1922年の水平社創立大会に出席し、1924年第1回周桑郡水平社大会を開催し、演説を行うなど愛媛県内で水平運動を起こしました。その後、全国的に農民運動が起こるや否や、水平運動、農民運動、労働運動を結合した運動（三角同盟）にしていきました。

当時、周桑郡では、全農家の85%が小作農民でした。小作農民は高額な小作料を地主に払わなければならない、生活は困窮していました。被差別部落の大半は小作農民であり、部落差別と地主制の二重の差別と支配を受けていたことになります。

林田哲雄氏は、すべての底辺に置かれ差別に苦しむ人々の解放を願い、運動を行いました。警察に検挙されること70余回、投獄されること5年余りと言われています。さらに、妻・末子は生計を支えるために助産婦として働き、農民組合の書記の人たちと共に林田哲雄氏を支えました。

戦後、GHQの指揮のもと、日本政府によって「自作農創設特別措置法」が1946年（昭和21年）10月に成立しました。政府が地主から安く小作地を買い取り、小作人に売り渡すことにより自作農をつくっていきました。これにより、封建的な地主制度は完全に崩壊し、戦後日本の農村は自作農民がほとんどとなりました。戦後の農地改革は、戦前の林田哲雄氏を代表する農民運動家や多くの小作農民、被差別部落民の運動が大きく影響したであろうことを決して忘れてはなりません。

「石水君、私は部落解放運動と農民運動を一生背負ってやってきた。しかし、もう、わしの命はいくばくもない。わしが生きていたということ、中山川の石でもいいから残してくれや。」
（「社会党の旗のもとに石水伴清42年のあゆみ」1992年 日本社会党今治総本部）

今治の県会議員の石水伴清氏に以上のような言葉を言い残し、1958年（昭和33年）60年の生涯を閉じられました。（参考・参照：愛媛県人権対策協議会西条市支部の資料、他）

西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課

木造住宅の耐震診断・耐震改修で大規模地震に備えませんか



今年は、日本各地で地震が連続して発生しています。

本市も、いつ大きな地震に見舞われるかもしれません。

そのためにも、ご自宅が地震に対し、どの程度耐えられるか知り対策することは大切です。

本市では、木造住宅の地震に対する安全性の向上を図るため、**建物の耐震調査を3,000円の費用で診断できる事業と、建物の耐震改修工事費用に最大100万円の補助金を支援する事業**を実施しています。

※耐震診断の負担額は3,000円ですが、診断結果を早くお求めの場合は、9,900円の負担で早く知ることができます。

対象となる住宅

○昭和56年5月31日以前に着工された一戸建て木造住宅

【申込期日】 令和5年12月4日（月）まで

—巨大地震による倒壊から命を守るため、耐震補助制度の活用を—



耐震改修前は、地震に対し、建物が大きく揺れ、倒壊の恐れも高い。



耐震改修すれば、建物が倒壊しにくく丈夫になります。

問合せ先

○市庁舎新館3階 建築審査課 建築審査係 TEL0897-52-1558

※ 猿による被害

5月上旬から7月上旬にかけ毎日のように訪れる猿の群れ。何匹もが屋根の上を走り回っていましたが、とうとうスレートを踏み抜かれました。6月17日（土）に秋山さんのアドバイスを頂き応急処置を行いました。7月12日（水）には秋山さんや社会教育課の職員3名に来ていただき水源地清掃や屋根の修繕等を行いました。その様子は9月号で紹介いたします。



修繕後（上側から撮影）

